

科目名称：	温泉文化	
担当者名：	廣瀬 元	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	1
授業の目的・テーマ		
<p>火山国の日本は「世界一の温泉国」と言われています。温泉は自然科学・医学・社会科学・人文科学・観光学など多岐な分野の研究対象となっていますが、一般人にとっては、単なる入浴・娯楽・リラクゼーションの対象の域を出ません。本講義では社会人の教養として、正しい温泉知識を学ぶと共に、日本の温泉文化から泉質、温泉観光など、さまざまな視点から温泉を考えます。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統・慣習による入浴方法、飲泉など、正しい温泉の入浴方法を理解する。 ・ 鉱泉分析法指針に基づく泉質の種類と効能を理解し、温泉分析表を読めるようになる。 ・ 石川の温泉地について正しい情報を学び、プレゼンテーションができるようになる。また、正しい他県の温泉地情報を得て旅行計画等が立てられるようになる。 		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP (2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	
DP (3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	○
DP (4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP (1)					0
ビジネスDP (2)					0
ビジネスDP (3)	80	20			100
ビジネスDP (4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）
なし	

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間 (分)
第1回 温泉学の概要.1	普段から、温泉、入浴、温泉番組等に関心を持ち、可能なら温泉に入浴すること。	40分
第2回 温泉学の概要.2	温泉法や温泉に関する基礎知識について復習する	30分
第3回 温泉の性質と分類.1	温泉法や温泉に関する基礎知識について復習する	30分
第4回 温泉の性質と分類.2	単純温泉について復習する	30分
第5回 温泉の性質と分類.3	塩化物泉、炭酸塩泉について復習する	30分
第6回 温泉の性質と分類.4	硫酸塩泉、二酸化炭素泉、含鉄泉について復習する	30分
第7回 温泉分析書の読み方.1	硫黄泉、酸性泉、放射能泉、含ようそ線について復習する	30分
第8回 温泉分析書の読み方.2	温泉分析書の読み方について復習する	30分
第9回 健康と温泉.1	温泉分析書の読み方について復習する	30分
第10回 健康と温泉.2	温泉の健康効果について復習する	30分
第11回 日本の温泉地	温泉の健康効果について復習する	30分
第12回 北陸の温泉地	日本の温泉地について復習する。	30分
第13回 世界の温泉	北陸の温泉地について復習する	30分
第14回 現代の温泉と未来	温泉について学んだことをまとめる	30分
第15回 まとめ。授業内でディスカッションを行う。	温泉について学んだことをまとめる	30分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、80%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。
小テスト20%

課題に対するフィードバック

テスト・レポートを採点し返却する。
質問カードに対する答えを次週に授業内で答える。

教科書・参考書

温泉の科学：温泉を10倍楽しむための基礎知識 佐々木信行・SBクリエイティブ